

「Y-Hack! Gate」開催！

2022年6月22日
市長定例記者会見
説明資料

6月3日 横浜DX戦略(素案)公表

横浜 **DX** 戦略(素案)
YOKOHAMA DX STRATEGY

フレーム編

令和4(2022)年6月
横浜市デジタル統括本部

フレーム編

横浜 **DX** 戦略(素案)
YOKOHAMA DX STRATEGY

アクション編

令和4(2022)年6月
横浜市デジタル統括本部

アクション編

「YOKOHAMA Hack!」で “行政課題”と“デジタル技術”をマッチング

ニーズ

横浜市が抱える
行政課題、地域課題



シーズ

民間企業等有する
デジタル技術、サービス

創発・共創により横浜のDXを加速させ、
新たな横浜の未来を切り開きます。

現場の課題を吸い上げる



1

モデル区(西・港南) デジタル区役所

防災、福祉や地域支援などの最前線にある区役所業務のデジタル化のモデル区(西・港南)の検討から課題を抽出

2

リーディングプロジェクト 防災、子育て、教育

子育て世代に選ばれる安全・安心な街の実現を目指し、設定した重点分野のプロジェクトから課題を抽出

3

DX化をサポートする デジタル・デザイン室

専門人材、民間人材などで構成するサポートチームが把握した各現場の課題を抽出

デジタル技術を持つ企業の多様な参画を促す



1

新たな ソリューションの創造

ワーキングでアイデアや技術を持ち寄り、ソリューションを創出

2

実装に向けた 技術実証の展開

新たなデジタル技術の実証を行い、有効性を確認

3

すぐに使える サービスの実装

現場が現在直面する課題を、迅速に解決するデジタルサービスを実装

多様なマッチングの機会をつくる



1

Y-Hack! Gate

オープンなプレゼンテーションの場

2

WEB プラットフォーム

マッチングサイト
・行政課題の掲載
・企業の技術紹介 等
(令和4年秋)

3

デジタル・デザイン室 によるマッチング

参加企業のシーズを
わかりやすく紹介し、
現場のニーズを喚起
(令和4年秋)

「Y-Hack! Gate」 イベントプログラム

● 開催日時

7月4日(月曜日) 18時～19時30分

会場：市役所1階 市民協働推進センター

定員：会場50名 オンライン300名 (事前申込制)

● イベントプログラム

1. 市長スピーチ

2. 基調講演

【テーマ】Well-Being向上に向けた創発・共創の環境づくり

【登壇者】南雲 岳彦 様 (一般社団法人スマートシティ・インスティテュート専務理事)

3. 横浜市のDXの取組 プレゼンテーション

4. 創発・共創の実証事業の募集テーマ発表

【テーマ】Well-Being向上に向けた創発・共創の環境づくり

【登壇者】南雲 岳彦（なぐも たけひこ）様



一般社団法人スマートシティ・インスティテュート専務理事
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社専務執行役員

地球環境と市民が共存し、誰もが幸福になれるグリーン&デジタルなまちづくりと国づくりに従事。デジタル庁田園都市Well-Being指標委員会委員、内閣府規制改革推進会議等、国の審議会委員、自治体・民間企業のアドバイザーなど数多く歴任。

実証事業の募集テーマ(デジタル技術により解決したい行政課題)

<募集テーマ1>

災害時における迅速・円滑な状況把握と効果的な情報発信に向けた映像等の活用

災害時に、刻々と変化する現場状況のより迅速で円滑な把握・共有や、市民の適切な判断を促す情報発信の充実強化を図りたい。映像情報等の活用などによる効果的な仕組みを模索する。

<募集テーマ2>

高齢者施設等の利用者の安全を守る避難確保計画の取組強化

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進、計画の実効性向上、関係部署間での確実な情報共有を図りたい。計画の作成・管理の効率化などによる効果的な仕組みを模索する。

実証事業 今後のスケジュール

今回(Y-Hack! Gate)
7月4日

実証事業テーマ提示

7月下旬

民間企業等とのワーキング実施

9月頃

ソリューション提案募集・審査

10月頃

実証実験開始

令和4年度内

実証事業終了・効果検証

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



- 新たな創発・共創の仕掛けを起動させ、
横浜のDXを一層加速